

「トントゥ フェスティバル 2021」メツァビレッジでの開催中止と
オンライン フェスティバル開催のお知らせ

展示予定だった内容のご紹介 ～ディーセント・ワーク～

ディーセント・ワークとは？

SDGs 8番目の目標「働きがいも経済成長も（Decent Work and Economic Growth）」で登場する「ディーセント・ワーク」。これは「働きがいのある人間らしい仕事」と訳されます。働くことで、賃金を得ることはもちろん、人からありがとうと言われたり、人の役に立っていると感じたりするような「働くよろこび」や「働きがい」も得られる。両者をバランスよく得ること、そして、働き続けるためのベースとなる家族を含めた豊かな生活や社会保障があること。これらの要素が「ディーセント・ワーク」であると、私たちは考えています。

SDGsとは？



SDGsは、「Sustainable Development Goals」の略で、2015年の国連サミットで決められた世界共通の目標です。日本語では「持続可能な開発目標」と言われています。貧困、環境、差別、教育、健康、紛争...など、世界が抱える様々な問題を解決するために17の大きな目標と、それらを達成するための169のターゲットで構成されています。私たちが地球で暮らし続けることができ、より良い世界を目指していくために定められたものです。

ディーセントワーク・ラボとは？

働くすべての人に喜びと安心を

私たちはすべての人のディーセント・ワークの実現を目指し、様々な活動を行っています。具体的には、一人ひとりが、どこかのコミュニティの中で「役割」があり、本人も周りの人たちもその「役割」を認識できるような環境をつくっています。ここでいう「役割」とは金銭に変わるもの、変わらないものも含めた広い意味です。だれかの幸せに関わったり、ありがとうと言われたり、役に立ったり。そういう一人ひとりの役割が大切に認識され、それが生活を営むことにもつながる。そういった社会に向けた活動を日々行っています。

特に、働く環境が十分に整っていない障がいのある人の「役割」や「仕事」を、多くのプロの方たちと共につくり、その活動を通して、全ての人の「働く」を見つめていきたいと考えています。

